



# 新型コロナウイルス感染予防を踏まえてのフッ化物洗口実施手順

「宮崎県フッ化物洗口マニュアル」P13、P14参照

洗口液の作成や分注は発熱等のかぜ症状のない者が行い、石けんで十分な手洗い後に実施する。

- ※ 洗口液の作成や分注はなるべく少ない人数で行う。ただし、確認は2人体制で行う。
- ※十分に換気を行う。

## 1 準備

- ① フッ化物洗口剤は鍵のかかるところに保管し、使用の度に取り出し、再度鍵をします。
- ② 管理簿に取り出しの記録をします。
- ③ 希釈用ポリタンクに決められた濃度になるようにフッ化物洗口剤と水を入れます。
- ④ 粉が残らないようにしっかりと混ぜます。
- ⑤ 実施する学級分の洗口液を分注します。
- ⑥ 準備完了です。

## 2 配付

洗口液の分配、分注は発熱等のかぜ症状のない者が行い、石けんで十分な手洗い後に実施する。

- ※十分に換気を行う。

- ⑦ 洗口液を各学級へ分配します。
  - ⑧ 各学級で1名分（10ml）ずつ紙コップ等に分注します。
- ※はじめに洗口液が出るまで数回空押しをします。

※感染予防の観点から、使用するコップは、できれば個人用コップより紙コップの方が望ましい。

## 3 洗口

- ⑨ 1分間ブクブクとうがいをし、口中に行きわたらせます。  
※やや下向きにうがいをするとうがいの効果がよく、誤飲しにくくなります。
- ⑩ うがいが終わったらコップに洗口液を吐き出します（コップにティッシュを入れます）  
※うがいが終わったら30分は飲食をしないようにします。

1分間が過ぎたら洗口をやめ、紙コップに口を近づけ、洗口液が飛び散らないように、できるだけ低い位置で静かに吐き出す。（場合によっては、ティッシュを先にコップに入れてから吐き出す、ティッシュを1枚多めに用いるなどの工夫をする。）

## 4 片付け

※ 洗口後のコップを回収する人は、手袋を着用するか、回収後に石けんで十分な手洗いをする。

※ 回収の際に、子どもが、他人の使用した容器に触れないようにする、洗い場に子どもが密集しないようにするなど、実施方法を工夫する。

- ⑪ 余った洗口液や、使用後の洗口液は排水管に廃棄します。
- ⑫ 容器等は洗浄後、乾燥させます。

※希釈済みの洗口液を使用する場合は、「2配布 ⑧洗口液の分注」から行います。

※「新型コロナウイルス緊急事態宣言下における集団フッ化物洗口の実施について」（日本口腔衛生学会）を参考に作成